

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 健康的な食と憩いを提供し世代間交流ができる安全で安心して集える居場所づくり事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 実家の茶の間 080-4687-4002 FAX0261-85-2525 |
| 事業区分 | (4)安全・安心な地域づくりに関する事業(3)教育、文化の振興に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 554,244円 (うち支援金: 369,000円) |

事業内容

- 1) 実家の茶の間の手洗い設備の部分改修工事(夏休み前)。自動水栓とすることで、手洗い場やトイレの利用にあたり非接触での使用を可能とし、「夏休み応援企画」の実施にあたっての感染症対策や環境衛生を強化すること。
- 2) 実家の茶の間「夏休み応援企画」夏休みに入った8月3～5日で長期休みを楽しく過ごす。学習支援及び自分たちで食事づくりを行う。学習支援者は講師として、通常ボランティアとは別に専門家を依頼。異年齢の子どもたちが集まって相互の交流で、普段の学校や家庭での生活とは違った体験や学びを得ること。



【食事作り】

その他別途添付写真参照

【目標・ねらい】

- ①安心、安全
- ②多彩な学習支援
- ③健康的な食
- ④憩い

事業効果

手洗いの自動水栓化は新型コロナの感染拡大の懸念をやわらげ、参加者から、安心して使えるとの評価を得ました。高齢者の方の場合蛇口の閉め忘れもあり、児童になってその心配がなくなったのも副産物でした。

夏休み応援企画は子どもの参加、保育園児から小学6年生まで地域外の都会のこどもを含め10名、4日12名、5日5名でした。思いと違い1年生の参加がなかったのですが、夏休みを過ごす子どもたちの学習支援と安全な居場所の提供のニーズに応えることができました。異年齢の子ども同士による相互交流により、子どもたちの主体的な成長が促され、特に昨年参加した子どもたちの成長が見られ、継続の大切さを改めて感じました。

今後の取り組み

これまで、月1回のこどもが作って大人が食べる日は高齢のスタッフを休ませるために設定したものでしたが、イベントだけでなくこの日に保護者に来てもらって運営にかかわってもらい、先々の運営に継ぎたい。今だけでなく、この先に生きる子どもたちがかわりを持ち続けて実家の茶の間が実家の茶の間のようになること。それをめざしていく。

自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価【 B 】

【理由】

ほぼ予定通りの参加を得た。地域でも知られていない動植物や、岩石の学習観察。普段危険で遊べない河原で遊べた。自然体験と同時に、持ったことのない包丁で食事づくりを体験した。新しいトイレで、新型コロナの感染予防として安心して利用できるようになった。